



NO.455

R7年7月1日

発行

〒869-1217

熊本県菊池郡

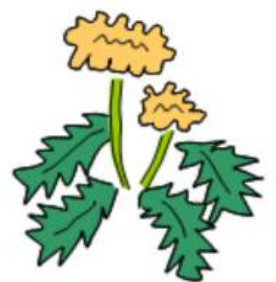
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



安全運転管理者等講習

施設長 木下昭二

毎日、暑い日が続いておりますが、皆様元氣にお過ごしでしょうか？九州では早々に梅雨が明けしまいました。気象庁が観測を開始して「最速の梅雨明け」との報道でもあり、早すぎる梅雨明けで雨量が足りず、逆に暑すぎて夏野菜の生育に影響が出ているようです。そもそも九州北部地方が梅雨入りしたのも、例年に比べると遅かったのも、梅雨の期間としても最も短かったのかも？しれません。

そのような中で先日、安全運転管理者等講習を受講しました。ご存じであると思いますが、この安全運転管理者等の役割は、施設・事業所における交通事故の防止と従業員の安全運転の確保を目的として制定された非常に重要なものです。その主な業

務としては一、運転者の体調・

適性の把握…点呼などを通じて、過労や病気、酒気帯びの有無を確認 二、運行計画の作成…安全運転を確保するためのスケジュールの立案 三、交代要員の配置…長距離や夜間運転時に備えた人員の確保 四、異常気象時の対応…台風や大雪などの際に安全確保の措置を講じる 五、アルコールチェックの実施と記録保存…23年12月からは検知器の使用が義務化になっています。

六、運転日誌の記録と管理…運転状況を把握するための記録を整備 七、安全運転指導の実施…従業員への教育や指導を行う、などが挙げられます。

今回は、その研修の中で特に印象に残った五、について続けます。対象となる施設・事業所の全てにアルコールチェックの実施が義務化されるきっかけと

なった事件が、令和3年6月に

千葉県八街市（やちまたし）で起こった事故で、飲酒運転のドライバーが居眠り状態で下校中の小学生の列に突っ込み、児童5人が死傷したことを受けて、その後の改正道路交通法の整備によって施行されました。当時この加害者男性が勤務する運送会社では、普段からアルコールチェックを行っておらず、「飲酒がない」のが前提だったとのコメントが出されていました。

更にその事故後も、運転業務の途中で立ち寄った店での飲酒による事故等が後を絶たず、運転始業前だけでなく運転業務終了後にもアルコールチェックの実施が義務付けられました。

私たち福祉施設においても送迎サービスの提供をしている関係上、アルコールチェックをし安全に運行することは勿論です

が、利用される利用者さんが乗車中に不穏状態になられた際の対応についても、過日の送迎ドライバーさんを対象とした研修会で話しを深めました。その中で、やはり「安全に運行すること」を最優先にし「安全に運転する状況」が整わないのであれば、一旦安全な場所に停車し、利用者さんが落ち着かれるのを支援を添乗者と協力して行い、安全を確保して運転を再開してもらうように伝えました。そうすることで、運行時間に多少のズレが生じたとしても、「安全運転が出来る環境の確保が最優先」であるとの観点を大切にし、そのことが事故の回避にも繋がると話しました。

もらい事故等も考えられる為、事故を〇にすることは難しくても、〇にするための配慮は出来るのではないかと考えます。今後も安全運転管理者として啓発を続けながら、自らが運転の模範となるように日々努めたいと思います。





7月



今年もスタート会開催されました

今年もスタート会が5月30日に開催されました。総勢180名が一同にホテルサンクラウン大阿蘇に集合してランチを頂きました。今回、私たちの席はステージに近い位置だったので各出し物の迫力が良く伝わって来ました。1班の出し物はKさんが歌う「踊るポンポコリン」。堂々と歌う姿は感無量です。最後まで上手に歌い拍手喝采でした。私も誇らしく感じました。

ランチの丸テーブルは8名掛けで、利用者さん5名スタッフ3名でテーブルに置いてあるお品書きに沿って、おいしそうな料理が運ばれてきます。食べるのが大好きなAさんは料理が待てない様子でしたが、みんなに料理が運ばれて来るのを、しっかり確認されています。Rさんは好き嫌いがはっきりされている方ですが、今年は完食でした。チョコレートムースをスプーンで器用にすくい満足な表情でした。来年も皆そろってスタート会に参加出来るようにと強く願います。

生活支援員 原田 直美

心地よい

5月30日(金)ホテルサンクラウン大阿蘇に於いてスタート会が開催されました。前日は、皆さん心ここに在らずといった様子で作業どころではありません。当日肌寒い朝を迎え、会場へと向かうバスの中では「お腹が空いた」という豪華な食事を心待ちにする利用者さんからの声が聞こえてきます。一年間の食事支援の成果を披露するという位置付けでもあり、支援員は細心の注意を払って臨みます。2時間余り、ゆっくりとした時間が流れます。Sさんの還暦お祝いにアルバムの贈呈があり、年齢が親子ほど違う白石スタッフがこの日の為にSさんの為に新調した洋服でステージに立たれました。Sさん、おめでとうございます！

2班余興では、センタープラザが思い出の場所であるというAさん、Tさん、Uさんで“センタープラザで逢いましょう”を歌われました。無心の笑顔、無邪気な歓声、あの日の幸せな記憶がよみがえります。かけがえのない貴重な時間を共に過ごし、心地よいと感じてもらえたのなら幸せです。

生活支援員 牛島真由美

二人三脚

「私の担当になって嫌じゃない？」と、Aさんの担当になった3年前、Aさんに尋ねられました。びっくりしたのと同時に、その時のAさんの寂しそうな目を今でも忘れられません。

Aさんは言葉で気持ちを表現する力がありますが、その反面、言葉によって沢山の苦勞をされてきたように感じます。反射的に攻撃的な言葉を使ってしまうたり、他者の会話を聞いて言葉の裏を感じてしまったり、本当に言いたかったことが、伝わらないなど、沢山ありました。

そこで、私がAさんを担当するにあたり心掛けたのは、話を聴くことです。聴く際は、途中で話を遮らない、Aさんの目線に立つ、些細な事ですすが積み重ねてきました。今年度も担当であることを伝えると「二人三脚でよろしくでござる！」とニコッと笑いながら、照れたような表情でおっしゃいました。楽しいこと、嫌なこと、日々色々なことが起きますが、その毎日を安心して生活していただけるよう努めていきます。

生活支援員 小林奈央



感情のたいせつさ

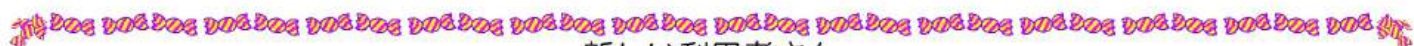
当施設の利用者さんと関わって5年が経過しました。利用者の方、それぞれに得意不得意や好みがあり、それは作業場面においても同じです。

しかし、作業に取り組むことや長時間座りつづけることが苦手な方にとっては、この時間は苦痛でしかないのではないのか、その苦痛を提供しているのは私たちではないのか、そこに意味はあるのか、利用者さんと関わり続けていく中で、そういった不安や疑念を抱き、やっていることの本質がみえなくなることもありました。

昨年とある研修会に参加した際に、“私たちだってきつい思いをしながらそれでも働いている、苦しさやきつさがあるから、楽しいことを楽しい、嬉しいことを嬉しいと思うことができるんだ”、とそんな言葉をいただきました。

できなかったことを努力してできるようになるから喜びを感じることができ、様々な感情を得る機会はとても大切なことだと気づくことができました。これからも利用者さんと色々なことを経験しながら、感情を共有し、一緒に進んでいけたらいいなと思います。

生活支援員 植野 希



新しい利用者さん

3月に支援学校を卒業し、4月からBeTREEを利用されているYさん。支援学校時代にBeTREEで実習をしたこともあり、スムーズに利用することができています。休まずに出勤することができ、とても頑張られています。ただ、自分の頭の中でグルグル考えすぎて体調不良になり、作業に集中できない日もあります。そこでスタッフがしっかりと本人の話を聞いて、どうしたらよいか、何を今一番にすべきかを一緒に考えることでモヤモヤが晴れることもあるようです。「中嶋さんと話をしてスッキリしました」と言われることがとても嬉しく、やりがいがあります。本人の将来の夢は、「結婚して家庭を持つこと」です。そのためには、社会性や生活していく上での知識やルールを身につける必要があります。また、仕事をしてお給料を貰いながら生活をするなど初めてのこともたくさんあります。少しでも本人の手助けになれるような支援を提供していきます。

中嶋 剛



療育雑記

「重ねていくやり取り、重ねてきた経験」

主任 石丸 直美

最近、若いスタッフ達との話の中で二、三十年前の利用者個々のエピソードに感心したり、笑ったり、今では考えられないと驚かれる場面がありました。

私が実習で来ていた時、すべきことは理解し、身体も機能的には動くことが出来、スタッフと言葉をかける、または背を押すとサッと動くのに、実習生の私が言葉をかけてもなかなか動いてくれず、手を引いたり、背を押したりしても一向に素知らぬ顔。朝の掃除を終え作業棟に移動を促しても、全く動いてもらえず、必死に日課の説明をしたうえで説得を試みたり、離れて様子をみたり、そして必死にジリジリと玄関方向に押し下がられないように対峙し、やっとの思いで玄関までたどり着くと、他の利用者とスタッフは昼食のため戻って来たところでした。私は上手く支援がで

なかったことより、スタッフと合流できたことにホッとしたのと同時に、「ここまでは来れたね」「作業をひとつでもしてきてね」というスタッフの言葉に泣きそうになったことを今でも

はつきりと覚えています。その後その利用者は昼食時間であることを分かっており、私の存在とは関係なくさっさと作業を済ませ食堂へと移動したのでした。実習期間、就職して1年目、2

年目と、起床促し、掃除、食事等あらゆる場面で上手くできない私に、スタッフが口々に立ち位置、ポイントとなる言葉、動き出しのタイミングの取り方等伝えてくれますが、早々は上手くいかず、毎日が必死で悔しくてよく泣いていたように思います。上手く支援出来たとき、先輩スタッフに「頑張った」と言ってもらっては気が緩み泣いていました。振り返ると私自身の成長もそうですが、対面する利用者個々が両輪のようにして課題を乗り越え、重ねていかなければならないものであったのだと思っています。そのために周囲のスタッフは、私と利用者との

対峙のために、様々な業務、他利用者の支援をカバーし、常に見守ってしてくれたことを後になり分かります。

今現在「〇〇スタッフだと動いてくれるから代わりに言っ（して）ください」、「どうしたらいいですか」と言う言葉を投げかけられた時、支援を変わることがあります。利用者に必要な混乱、失敗をさせないことは重要だと思うからです。しかし可能であれば方法を伝え見守ります。スタッフ個々が利用者を知り、考え、体感してもらうことが重要だと思うからです。

「こう考えこうしたけど上手くいかなかった」、「こう思うのでこうしてみようと思う」という言葉を口にするスタッフの存在はとてもうれしく、言葉足らずなりに伝えられることは伝えなければと思います。またそのようなスタッフと利用者の様子は、どうしても気になり、遠くであっても、同じ空間に居なくとも成り行きに意識を向けてしまします。私が今までしてもらってきたように、意味あるやり取り、経験となるようにと思いな

がら。



看護便り

主任 八木 良江

6月27日 健康診断がありました。毎年、6月の健康診断は、身長体重、視力検査、血圧、採血、胸部レントゲン、心電図、問診とあります。心電図に関しては、40歳以上は必須となり、入所利用者は、全員が受診することになりました（皆、40代越えに驚きです）。また、スタッフも35歳以上は、健診センターにて健康診断を受けるのですが、これも90名近くいるスタッフのほとんどが、健診センターに行くことになり、入所利用者、スタッフ共に高齢化してきていることを実感しました。

利用者の健診は、皆さん毎年受けていることもあり、流れも把握しており、混乱もなくスムーズに健診を受けることが出来るようになりました。健診センターの看護師の方も利用者さんの事を覚えてくれていて、「視力計れましたよね」「前回は、ここで採血しましたよね」と利用者一人一人声をかけて頂き、こちらも安心してお任せすることができました。

高齢化に伴い、色々と病気に

罹患する事や、検査が必要になります。健診の経験を積むことで、病院でも安心して検査を受け、大きな病気をすることなく、いつまでも健康第一に過ごせていただけたらと切に思います。

自治会

『代表』

生活支援員 渡邊 里奈

今年度、自治会の責任者をさせて頂いていただくことになりました、渡邊里奈です。4月、5月、6月と、季節があっという間に変わり、2025年も折り返し地点になりました。

自治会の選挙を終え、今年も6人の自治会役員の方が決定しました。皆さんと一緒に、地域や三気の里での行事や、三気の里をきれいにする活動など、様々なことに取り組んでいく予定です。今年のテーマは「代表」。職員、利用者さんともに「三気の里代表」ということをしっかりと胸に刻んでいきたいと思えます。私事にはなりますが、三気の里に勤めさせていただき、三年目となりました。そしてこのような「責任者」を任せていただくことが初めてです。ドキドキするとともに、職員「代表」

であることを誇りに思います。その名に恥じぬよう精進し、自治会役員の6名、職員と力を合わせて頑張ります！



7月スケジュール

03(木) アンパ創作活動
 04(金) 芸術クラブ
 05(土) 施設職員バレーボール大会
 09(水) 4班レクリエーション、5班レクリエーション
 11(金) ゴールドクラブ
 12(土) 一斉清掃、さんき温泉
 16(水) 2班レクリエーション
 17(木) 嘱託医来診
 18(金) 夏まつり

22(火) 田中Dr.ケースカンファレンス
 24(木) リハの日
 25(金) 産業医職場巡視

毎週月曜日 訪問理容サービス
 毎週水曜日 BeTREE役場販売

BeTREE
 <営業時間>9:30~17:30



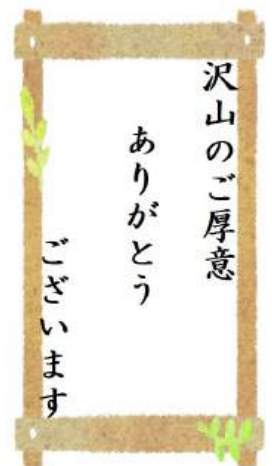
betreeJ14

【Vo】
 前淵隆子様
 ブラッシング

【後援会】
 荒牧貴子様 魚谷郁子様
 三隅優馬様 前田克英様
 木下祐一様 森本美樹様
 林千莎子様 本田瑞恵様
 藤井法仁様 井手上恭子様
 牛島智子様 有本田硝子様
 今池隆則様 ダイハツ大津様

【寄付物品】
 小牧博則様 赤星央子様
 柴田博子様 園田真也様
 児玉静子様 中嶋久枝様
 福永敬子様 岩切美佐子様
 森川琇介様 松井美津子様

【寄付】
 木村栄男様 松村俊介様
 前田克英様 藤井法仁様



七月に入りとても暑い時期が続いています。梅雨の時期が早く終わってしまい、もう夏が本番になってきます。七夕や、夏祭りのイベント事が始まってきます。熱中症などの体調に気を付けて行きたいと思います。

白石 峻真

編集後記

